

# 高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

## 三重創生ファンタジスタオリジナル授業 「三重の歴史と文化」開講

日本理解特殊講義（三重の歴史と文化）の前期オンライン講義が始まりました。オムニバス形式で各回事前学習（個人・グループワーク）と本講義のセットで外部の先生方にもゲストスピーカーとして登壇していただきます。

履修者は5月末現在で41名。ハイブリッド型講義（対面・オンライン）で開始しました。

雲井先生（三重大学）：三重の歴史の変遷と地理的特色  
太田氏（三重県総合博物館）：歴史学からみる

三重の「食」

板井先生（皇學館大学）：伊勢神宮とお伊勢参り  
竹川氏（松阪市観光協会）：江戸時代における

伊勢商人の活躍

吉田氏（本居宣長記念名誉館長）：伊勢の歴史と文化

本居宣長の活動にみる伊勢国の特性

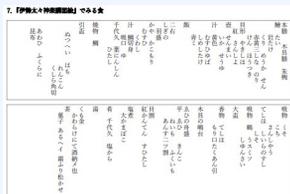
山田先生（三重大学）：忍者の歴史と文化

冨本先生（鈴鹿大学）：熊野地域を中心とした

歴史・文化・観光

5月19日（水）は、三重県立総合博物館（MieMu）学芸員の太田氏より、伊勢滞在でどのような食が出たのかが分かる史料：伊勢太々神楽講図絵を再現したのも写真で照会していただきました（左図）。

学生からは、「太田先生が本膳料理を作られた際のお話は面白く、江戸橋周辺の歴史、おかげ参りについても深く知ることが出来ました」との嬉しい声が多数挙がりました。



（講義の一部）

## 「三重県地方創生会議」委員就任

令和3年度三重県地方創生会議委員に就任した大前南歩さん（三重大学人文学部3年、三重創生ファンタジスタクラブ副部長）から、「今年は、三重創生ファンタジスタエキスパート資格を目指します！、また兵庫県出身者からみた三重県の良さ、地域資源について提案していきたいです！！」と意気込みを語ってもらいました。三重県からは、若者の仕事観、移住観、三重の地域創生に資する活動についてぜひ声を聞きたいです、と期待の声が聞かれました。

## 三重創生ファンタジスタオリジナル授業 前期集中講義「医療・健康・福祉実践」開講

前期集中講義「日本理解特殊講義（医療・健康・福祉実践）」では、三重県の重点課題である医療・健康・福祉に対して、主に僻地（離島）医療の観点からオンライン形式による学修を行います（担当：鈴鹿医療科学大学 河尻先生、三重大学 志垣先生）。履修（予定）者は5月末現在で9名。

・6月19日土曜日

オリエンテーション

地域資料・統計、文献検索（三重大学 和気先生）

医療・健康・福祉について、グループワーク他

・8月21日土曜日

三重県の救急医療（三重大学 今井先生）

消防活動（津市消防本部、志摩市消防本部）

医療従事者と地域創生

（島根大学 岩下先生、紀南病院 森本先生、

くまのなる在宅診療所 濱口先生、産業医 平井先生）

・8月28日土曜日

医療と介護の連携（志摩市介護サービス事業者連絡会）

グループワーク（志摩市民病院 江角先生）

・9月3日金曜日

グループワーク、発表

## ～お知らせ～

新体制の下、令和3年度第1回高等教育コンソーシアムみえ企画運営委員会がオンライン形式で開催されました（2021年5月25日火曜日）。その中で、地域貢献部会、FD/SD部会、教育連携部会の今年度の取組について、各部会長から報告がありました。今後の方向性について、地方創生に寄与する存在価値のある組織を目指し、慎重かつ丁寧な議論を続けてまいります。

※高等教育コンソーシアムみえのバナーのデザインが変更されました。より、ALL三重体制を示すデザインになっています。



発行元：高等教育コンソーシアムみえ 事務局  
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

